

令和3年度 青森市総合防災訓練

概要

◆実施目的

災害時における応急対策を迅速かつ円滑に実施するため、防災関係機関と住民等の間に連絡体制強化を確立するとともに、市の防災体制の強化と市民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。

◆実施日時・場所

- 令和3年9月25日（土）
8：00～12：00
- 青森市役所本庁舎、浪岡庁舎
防災活動拠点施設60か所

◆避難所開設・運営訓練実施避難所及び参加予定町会・町内会

- 【青森地区】東陽小学校
＜参加予定町会＞
○東部第1区連合町会
（浅虫・久栗坂・野内）
○東部第4区連合町会
（宮田・馬屋尻・矢田・滝沢・三本木）
- 【浪岡地区】女鹿沢小学校
＜参加予定町内会＞
○沖冠・東町・女鹿沢・銀

◆災害想定

令和3年9月25日（土）午前8時00分頃、青森湾西岸断層帯の入内断層を震源とする地震が発生、青森市内は最大震度7の揺れを観測、家屋の一部損壊、電力・上下水道・通信・ガス施設等のライフラインの被害が発生。青森地区では陸奥湾沿岸部に津波警報が発表され、浪岡地区では一部ため池で堤防の亀裂が確認され、決壊の恐れが高まった。

◆参加団体

（参加団体31団体、参加人員約400人）
青森警察署、青森南警察署、青森海上保安部、青森県防災航空隊、青森地域広域事務組合消防本部、浪岡消防署、陸上自衛隊第5普通科連隊、NPO法人北東北捜索犬チーム、青森ガス(株)、東北電力ネットワーク(株)青森電力センター、(株)ドコモCS東北青森支援、東日本電信電話(株)青森支店、青森三菱電機機器販売(株)、青森県防災士会、日本赤十字社青森県支部、青森消防団、浪岡消防団

フェーズⅠ

（職員参集～情報収集～避難所開設～住民避難）

災害対策本部会議の開催訓練

- ①地震津波の概要 (9:00～9:45)
- ②被害の概要
- ③避難所開設状況
- ④住民の避難状況
- ⑤本部長指示



自主参集訓練 (8:15～10:00)

防災活動拠点施設（60か所）の避難所配置職員が、津波警報解除後、自動的に各担当避難所へ参集。

避難所開設・運営訓練 (8:30～11:30)

自主参集訓練終了後、新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所の開設と町会住民による段ボールベット等の作成体験を実施。



避難訓練 (8:15～9:00)

野内小学校への一次避難訓練
東陽小学校への二次避難訓練



フェーズⅡ

（避難者支援～人命救助活動～ライフライン応急復旧活動）

海難救助訓練

(10:10～10:30)

青森海上保安部、青森県防災航空隊、青森消防による海難救助訓練



津波警報解除後、海上保安部巡視艇及び防災航空隊ヘリコプターによる青森湾内の巡視中、野内埠頭防波堤に取り残されている遭難者及び野内漁港内で瓦礫に挟まって浮遊している遭難者を発見、ヘリコプターによる吊り上げ及びゴムボートによる遭難者の救助活動の場を設定



応急給水訓練

(9:10～11:50)



○毛布担架作成体験



○水消火器操作



○起震車体験



災害救助犬展示

(9:10～11:50)



装備品展示

(9:10～11:50)



自衛隊や消防が常備する装備品の展示

ライフライン応急復旧訓練

(9:10～11:50)

ドコモCS東北 … 電気通信設備復旧



青森ガス … ガス応急復旧



東北電力NW … 電力施設応急復旧



被災による市内ライフライン関連施設の被害の発生を想定し、災害時応援協定締結団体の応急復旧訓練

NTT東日本 … 電気通信設備復旧

